

新会長ご挨拶

絆をつなぎ 心をむすぶ

謹啓 皆様には益々ご清祥の御こととお慶び申し上げます。

去る6月27日に開催されました宝塚甲南会・第23回総会において、今年度役員改選にあたり書面表決にご参加の皆様より会長にご信任賜りました、安田 繁 でございます。



安田 繁
(1978年理学部卒)

当会とは 1999年(平成11年)5月23日の設立総会の準備の時からお手伝いをし、以来22年余りお世話になっております。

この間、この集いに携わることによって沢山の方々とお出会いがあり、様々なことを学ぶ機会に恵まれました。しかし、持ち合わせた資質のレベルが低く人としての「徳」を積むことが叶わず、昨年々末に高齢者となり「体」も衰えはじめ、「知」に至っては機能低下で、平生イズムの真逆を歩みはじめております。

この集いの会長に相応しい品格のある先輩や有能な後輩の方々が沢山おいでの中、私どもが大事なお役に就くことは望外のことでございましたが、重くうけとめ微力ながら同窓の『絆をつなぎ 心をむすぶ』ことを念頭に、役割を全うする所存でございます。

ご存知の通り宝塚甲南会といたしましても、昨年の初めより新型コロナウイルス感染症(Covid-19)の影響を受け、なかなかリアルにお出会いし親しく集うことが難しい状況です。

今秋11月14日に宝塚ホテルで第43回例会を予定しておりましたが、昨今の感染再拡大を目の当たりにし役員会で協議の結果、その開催を見送ることいたしました。

総会や例会、ご当地ならではの宝塚歌劇の観劇をセットにしたグルメの会、ゴルフコンペ、平成・令和年度の卒業生を対象とした宝塚甲平会「宝塚甲南平成の会」と、新型コロナウイルス感染症が収束に向かい催し再開後は、改めてみなさまとご一緒に同窓の絆をつなぎ心をむすんでまいりたく思っております。

とはいえ、なによりもなにもまして、会員・メンバーのみなさまはもとより、白石前会長や役員の方々のお力添えとお支えがなければ、この集いは立ち行きません。

引き続きご協力とご支援を賜りますよう、また、よろしくお付き合いくださいますようお願いを申し上げ、就任のご挨拶といたします。

敬白

書面総会の結果のご報告

本年度もコロナウイルス感染拡大防止のため、総会を書面総会といたしました。

2021年6月27日(日)10時より、書面表決による総会を開催いたしました。6月25日(金)までに到着した書面表決書は合計78通。うち第1号議案から第5号議案について賛成の表決が78。これにより全ての議案が承認可決されました。ご協力ありがとうございました。

活動中止のお知らせ

コロナウイルスの感染拡大が収まらないため、今年いっぱいの全ての活動(例会・グルメの会・ゴルフの会・甲平会)は中止いたします。

感染が収まり次第再開したいと思っております。その日を楽しみにもうしばらくお待ちください。



Vol.46
2021.10.10

宝塚甲南会

Takarazuka
Konankai

新体制スタート

2021年6月27日(日)の書面総会を経て新体制がスタートいたしました。
コロナ禍という難しい時代ではありますが、チームワークが売りの宝塚甲南会として一致団結して活動して参りますので、よろしくお願い申し上げます。

2021年度 新役員名簿

役 員	氏 名 ※は新任	卒業年・学部	役 員	氏 名 ※は新任	卒業年・学部
会 長	安 田 繁 ※	S53年理	幹事(前会長)	白 石 朋 康	S49年経済
副会長・会計	富 川 晃太郎 ※	S58年経済	幹 事	細 川 知 子	S57年文
副 会 長	北 村 真	S63年院修	幹事・会計	松 本 利 江	S63年経済
副 会 長	杉 山 洋 一	H元年経済	幹 事	小早川 優	S63年経営
幹 事 長	松 岡 左知子	S58年経営	幹 事	新 留 賢 一	H9年法
事務局長	山 中 啓	H2年法	幹 事	神 本 哲 史	H9年経済
副幹事長	山 鳥 航 平 ※	H7年法	幹 事	木 村 嘉 之	H10年経済
副幹事長	永 崎 淳 子 ※	H8年法	幹 事	田 中 孝 知	H29年経営
副幹事長	鳥 居 恒 夫	H8年経営	監 査	峯 島 英 行	S60年法
副幹事長	石 場 慎 吾 ※	H13年経済	監 査	長 沼 隆 伸	H8年経営
副幹事長・会計	水 鳥 正 裕 ※	H18年高校	(任期：令和3年4月1日～令和5年3月31日)		

ノベルティー同封の件



本年度も総会例会またその他の活動が、コロナウイルス感染拡大防止のため活動自粛を余儀なくされております。
会員の皆さまとの絆を確固たるものにするため、昨年はエコバッグを送らせていただきました。本年度も年会費を入金してくださった方に学園のネームの入ったボールペンを送らせていただきます。

10月9日(土)までに年会費を入金してくださった方には「たから」46号に同封させていただきます。これ以降に入金してくださった方には別途送らせていただきます。

また皆さまと顔を合わせられる会が再開できますことを心待ちにしております。その日までお身体ご自愛ください。

年会費(事務通信費)納入のお願い

宝塚甲南会は、会員皆様の年会費(事務通信費として2,000円)により、成り立っています。この会報「たから」印刷費、発送費、役員会会場費等に使用させていただいております。毎年、4月以降のご入金分を、本年度分とさせていただきます。同封の郵便振替用紙をご利用ください。よろしくお願いいたします。

＜ゆうちょ銀行 払込手数料について＞

2022年1月17日(月)より、現金による払込みの際には110円のご負担がかかることになりました。

但し、ゆうちょ銀行の口座から通帳、あるいはカードを利用した場合は、これまで通り無料です。

会員の皆様には、余分のご負担をいただく方もあり大変恐縮ですが、ご理解の程よろしくお願い申し上げます。
(2022年1月14日(金)までは、現金払込でも無料です。)

コラム
T&K



S 58年経済卒 富川晃太郎

地域課題や企業活動の研究、学外での人との出会い。様々な世代との共同作業などを通じて課題解決力を養い、自ら学び行動・発信できる人材を育成することがねらいとされています。

このSDGですが、最近丸いカラフルなバッジを付けた方々をよく見かけます。掲載しているロゴマークのバッジです。このような環境のもと、私たち一人ひとりにも出来ることは数多くあると考えられます。SDGを特別なものとしてではなく「自分ごと」として捉え、それぞれの活動や生活の中に浸透させていくことが大切だと感じています。

SDG「持続可能な開発目標」とは、2015年の国連サミットで採択された、地球に暮らすすべての人が平和と豊かさを享受できるように2030年までに達成すべき17の国際目標のことです。日本でも、政府だけでなく多くの企業や市民団体等がこの取り組みに参加しています。

甲南大学では、この国際的な取り組みに賛同し、2018年よりプロジェクトをスタートさせています。現在、神戸市、堺市、和歌山市、徳島市、岡山市の5つの市と連携し、甲南生が地元の高校生や各市の自治体職員、また大学教員等と共に持続可能な社会の実現のため、それぞれの地域が持つ課題に向き合っています。それが「関西湾岸SDGサチャレンジ」です。

SDGと甲南大学